

SCIO

Socialization

IIndependence

Correction

OOrientation

関東矯正管区管内

少年矯正広報紙

スキオ

No. **90**

特集

地方自治体と連携した取組

ー茨城農芸学院での取組を紹介しますー

コラム

健全育成支援とは？

ー甲府少年鑑別所における健全育成支援
(甲府ライブラリー) についてー



土を耕し心を耕す

茨城農芸学院

茨城農芸学院の紹介

当院は、法務省が管轄している、関東甲信越・静岡の1都10県で非行を犯した少年に矯正教育を行う茨城県牛久市に所在する少年院です。

当院は、①支援教育課程Ⅲ（N3）義務教育を修了した者のうち、知的能力の制約、対人関係の持ち方の稚拙さ、非社会的行動傾向等に応じた配慮を要する者、②社会適応課程Ⅰ（A1）義務教育を終了した者のうち、

就労上、修学上、生活環境調整上等の問題がある者で、他の課程の類型には該当しない者（総合建設科建設機械運転訓練コースに選考された者）、③保護観察復帰指導課程Ⅰ（P1）及び④保護観察復帰指導課程Ⅱ（P2）という教育課程を有しております。

在院者に対し、対人関係技能を養い、適応的に生活する習慣を身に付けるための各種指導を行うほか、「農芸」学院という

施設名にもあるとおり、施設内の豊かな自然環境を利用し、農作業を中心とした職業指導を行っている点が大きな特色です。

所在自治体である牛久市は、以前から当院の教育活動（各種行事や社会貢献活動等）について深い理解と協力を示して下さい、良好な関係性を築いてきました。それらの関係性が、現在の連携事業の充実につながっています。



前庭から正面玄関を臨む



社会貢献活動

◆特集 地方自治体と連携した取組

～ぶどう栽培を中心に～

牛久市とのぶどう栽培プロジェクト

牛久市の観光施設として市民からも親しまれていた牛久シャトーは、平成30年に所有者が事業から撤退し、令和2年に牛久市が支援に乗り出し、第3セクター「牛久シャトー株式会社」（以下、「牛久シャトー」という。）として再出発しました。

牛久シャトーは、創業者が選んだ牛久市産のぶどうでワインを作りたいと考えていましたが、牛久市内にはぶどう栽培専門の農家はいませんでした。そこで、当時の市長が「茨城農芸学院でぶどうを栽培してもらってはどうか。」と発案。当院としては、地域のシンボルでもある牛久シャトーにワインの原料であるぶどうを納品することができれば、地域産業に貢献し、これ以上ない地域連携事業となります。さらに、将来的に「茨城農芸学院」の名前が入ったワインが市場に出ることになれば、社会からの肯定的な認知度のアップにつながると考え、当院の牛久市と連携したぶどう栽培プロジェクトが始まりました。



露地での試験栽培

ぶどう栽培用ハウス



■ 開始時の課題 ■

- 当院の土壌でぶどうの栽培が可能か
- ぶどう栽培においてどのような作業工程と作業量があるか
- 当院の在院者の人員と職業指導実習時間でどの程度の生産が可能か
- ぶどう栽培に関しての技術的な課題をどのように解決するか

試験栽培の開始

このように、牛久市と連携し、ぶどうを栽培することを決めた当院ですが、開始当初は多くの課題がありました。まず初めにぶどうの苗木を購入しなければいけませんが、購入する苗木の種類も分からないため、近隣でぶどうを栽培している農家を紹介してもらい、視察に行きました。そこで見た苗木の品種、取扱い業者をメモして、業者に電話し、3品種（マスカットベリーA、メルロー、ブラッククイーン）合計50本の苗木を購入しました。そして、令和2年4月24日、50本のぶどう苗木を定植し、当院の露地にて試験栽培が開始されました。試験栽培では、各種の観察データを取る必要があったため、①芝がある場所・ない場所②日が当たる場所・当たらない場所③肥料を施肥する・施肥しない④ビニールハウス内・露地⑤接ぎ木・挿し木、に分けてそれぞれの品種を定植し、定期的にその発育状況を記録しました。

また、試験栽培と並行して、将来的に収穫量を拡大し、安定した収穫量を確保するために、当院の農場に大規模なぶどう栽培用ハウスを設置するべく様々な準備も始まりました。



㊤職員による勉強会 ㊦在院者による定植作業

ぶどう栽培プロジェクトの成果

令和2年4月から始まったぶどう栽培プロジェクトは、翌年8月に、初の収穫作業を行い、収穫した35キロのぶどうはコンポートにして、在院者に給食として提供しました。

続く令和4年には103キロを収穫し、収穫したぶどうはコンポートとゼリーにして給食で提供しました。

そして、令和5年には、試験栽培から本格栽培へ移行し、944キロを収穫。そのうちの781キロを牛久シャトーにワインの原料として初めて納品することができました。

令和6年には1,968キロ収穫し、そのうち1,544キロ（メルロー1,218キロ、ブラッククイーン326キロ）を牛久シャトーに納品しました。また、令和5年に当院が納品したぶどうが使用されたワインが、令和6年5月に発売されました。

地域連携の今後の在り方について

ぶどう栽培以外の牛久シャトーとの連携事業として、令和3年から牛久シャトーでの社会貢献活動や令和4年から当院製品企画科(クラフトコース)で製作した陶芸作品の牛久シャトー売店での通年販売を継続しています。さらに、令和5年からは、矯正展等への共同出店を行い、確実に事業を拡大させています。また、牛久シャトー以外での社会貢献活動や地域における各種行事への参加についても、今後も継続していきたいと考えています。

今まで必ずしも近い関係ではなかった矯正施設と所在自治体が、大小様々な企画に共に取り組むために必要なことは、互いに密なコミュニケーションを取れる関係性を構築することと、互いのことを理解しようとする姿勢だと思います。

ぶどう栽培プロジェクトをはじめとする連携事業が、一時的な取組にとどまらず、地域や施設職員から支持され、継続的な取組としていくよう、良好な関係を維持し、地域連携を更に深めていきたいと考えています。

■ 牛久市との連携事業 ■

- 牛久運動公園での社会貢献活動
- 牛久鯉祭りでのイベント準備
- 当院在院者と牛久市職員とのソフトボール大会
- 当院行事への牛久市長のご臨席
- 少年矯正施設では初めてとなる牛久市との合同防災訓練
- 牛久シャトーでの社会貢献活動
- 矯正展での共同出店
- 牛久シャトー職員による在院者講話
- 牛久シャトー技術者との定期勉強会
- 牛久シャトーでの当院陶芸作品の通年販売



水戸矯正展での牛久シャトーとの共同出店

健全育成支援とは？

少年鑑別所法では、在所者の自主性を尊重しつつ、彼らの心情安定を図り、健全な育成を期すための機会を与える旨が規定されています。内容としては、対人関係及び日常の行動に関する助言及び指導、情操のかん養及び修学、就業等進路選択に資する活動等があり、少年鑑別所ごとに工夫した取組を行っています。

◆甲府少年鑑別所における健全育成支援

（甲府ライブラリー）について◆

甲府少年鑑別所における取組

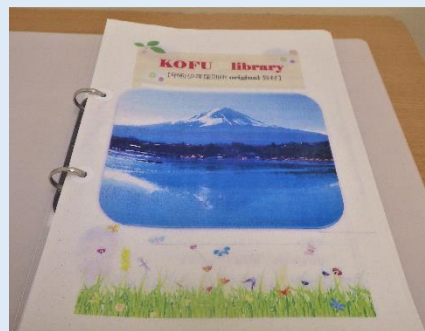
当所では、健全育成支援の一つとして Kofu Library（甲府ライブラリー）を作成しました。

この冊子は、社会生活を送るうえで在所者に知っていて欲しいこと、伝えたいことや、地元山梨の魅力等をまとめたオリジナルの冊子です。各居室に備え付け、在所者がいつでも自由に読めるようにしています。在所者の内6割以上の者が当所から社会に戻っていく現状を踏まえ（移送等を除く。）、少しでも在所期間を有意義なものにし、再非行防止に役立ててほしいという願いの下、令和4年度に作成し、改訂を加えながら現在では違法薬物の危険性、辞書の引き方、人生訓についてなど、66項目を取り上げています。

また、県内の相談機関の紹介もしており、退所後の参考にしてもらえようようにしています。



③当所外観 甲府少年鑑別所は、甲府盆地の南部に位置し、甲府刑務所が隣接しています。周囲には田畑が広がり、富士山の頂や北岳も見える自然豊かな立地です。



①甲府ライブラリー表紙

在所者からは、面白かった、よく知らなかったマナーを知ることができた、失敗してもやり直している人がいることに勇気をもらった等、肯定的な感想を得ています。

今後も、定期的に内容を見直し、バージョンアップさせながら、少しでも在所者の心に響き、社会の荒波を生き抜く糧になってくれたらという思いで、健全育成に取り組んでまいります。

Subject
65.

1 + 1 × 2 = ?

タイトルの問題を解いてみよう。
みなさんにとっては実に簡単な問題だと思います。さあ、答えは？
A 2 B 3 C 4

正解は.....Bの「3」です。
《解説》
この問題は実に簡単な問題なのですが、多くの人が間違える問題でもあります。どうして、間違えてしまうのか？
物事には「理由」があり、その理由を覚えていくことが正しい答えを導くコツでもあります。この問題を解くためには、たった一つだけ大切な計算の「約束」があります。それは、「かけ算を先にやる」ということです。

この問題の答えを間違える理由は大きく分けて3つです。
1 やり方が分からなかった。
2 やり方を忘れていた。
3 やり方を間違えた。

答えを間違えてしまったあなたは、何番だったかな？また、この理由の中で、永久に「正解」とならないのは何番だろう？そう3番ですね。例え、正しいやり方を知っていても、そのとおり行わなければ、いつまでも決して、正しい答えにはならないよね。

「答え=未来」だと考えてみて下さい。今、答えを間違えた人も、正しいやり方を知ったり、思い出したりして、新しいやり方で答えを変化させることができるようになったはずですよ。「未来」も同じなんです。ね。「今」という結果を変化させていくためには、これまでの「やり方」と「答え方」を変化させていくことによって、答えという「未来」が変化していくものなのです。

自分の望む「未来」を新たに作り出していくためにも、これまでの間違いの原因（答えや行動）を分析していく。そして、新しい答え方とやり方を見つけていこう。

☆「未来は変わる」答え方と行動を変えることで・・・
「望」を定めろ。で、「望」があなたを捨ててくことはありませんが、あなたが「望」を捨てない限り・・・

②甲府ライブラリーの一例「1+1×2の話」 未来を変える



快晴のぶどう栽培用ハウスと農場（茨城農芸学院）

関東矯正管区管内少年矯正広報紙 SCIO（スキオ）

第90号 令和7年10月発行

編集責任者 関東矯正管区少年矯正部長 川島敦子

編集・印刷 茨城農芸学院

〒 300-1288

茨城県牛久市久野町1722-1

電話 029-875-1114

「SCIO」（スキオ）とは、ラテン語で、「知る」という意味です。それは矯正教育の目標でもある、次の四つの英単語の頭文字の組合せから成る言葉でもあります。

Socialization （社会化）

Correction （矯正）

Independence （自立）

Orientation （方向付け）

次号は令和8年2月、八街少年院、千葉少年鑑別所を担当庁として刊行の予定です。